

新宮山彦ぐるーぶ第1847回

新宮山彦ぐるーぶ創立40周年・持経宿改築竣工

及び玉岡憲明相談役「緑綬褒章」受賞祝賀会開催

◇実施日：平成27年11月28日(土) 17時45分～21時10分

◇参加者：招待者12名、招待者随行者4名、和歌山市・田辺市7名、奈良県5名、大阪府・兵庫県12名、京都府・滋賀県8名、中部・関東・東北18名、中国・四国地区17名、三重県尾鷲市・紀北町5名、地元(新宮市・紀宝町)27名。会員50名(他65名) 計115名。
尚、詳細は別紙。

当初、新宮山彦ぐるーぶ創立40周年並びに持経宿改築竣工祝賀会として御案内し締切しましたが、秋の褒章発表で玉岡憲明相談役が長年の南奥駆道再興の社会奉仕活動の功績が認められ「緑綬褒章」を受賞され、急遽トリプル慶事祝賀会として開催しました。

地元会員(玉岡憲・玉岡明・川島・沖崎・濱野・畑林秀・畑林清・大江加)は、27日午後から祝賀会会場に赴き、会場に横断幕等設置と記念品(創立記念品の電波時計と受賞者のお返し尻敷きは、緑綬の緑で、尻で敷いて容赦願うとのこと)を紙袋へ入れる。沖崎氏は、前日に参加変更の連絡が4人あり、ホテル浦島支配人と最後の打合せを行う。

当日、地元会員(川島・沖崎・児嶋・濱野・畑林秀・畑林清・大江加・大江徳・益田・東・玉置)と大阪府の青木・梶野氏は、13時に沖崎宅に集まり、ホテル浦島へ向う。那智勝浦ICを下りると煙が上がり明らかに昼火事だ、

早速、持経宿改築竣工記念品(紅白餅)を紙袋に入れ、終える頃に玉岡さん家族、山上夫妻・福島市の佐藤さん、御殿場市の伊藤

君が到着する。

地元組は、昨年作製した40周年記念ブルゾンを着用し、沖崎氏から受付要領等の打合せをする。

受付は、畑林清・大江加・大江徳・益田さんが担当。残りは、名誉会長塩川先生の写真と緑綬褒章表彰状と記念品及び聖護院門跡・宮城泰年門主揮毫の「三昧法螺聲」の掛軸と祝電の掲示。又、祝賀会参加者の資料を手直しする。余興の熊野水軍太鼓の太鼓は、ステージ横から搬入出来ないので宴席設置前に搬入。

吉開賢淳師は、玉岡さんから入場時法螺を吹く依頼を受けているが、会場到着が開式直前になるとの携帯連絡がある。準備係は誰も知らず、吉開師と相談する事にする。着替え時間がないと電車内で山伏装束に着替えて到着され、法螺は開式の辞の前に吹くことに決まる。

5時45分頃には、皆さん会場の「鳳凰の間」にお集まり下さり、一旦着席して頂き2班に別れて記念撮影。



18時過ぎに吉開賢淳師の祝い法螺で開式。司会者沖崎氏が開式の辞を述べた後、本年ご逝去の名誉会長塩川先生ほか南奥駆道の再興に携わって頂いた、故人のご冥福を祈念して1分間の黙祷。次に無双直伝英信流範士九段・佐々木俊岳さんの四方払い後、川島世話人代表挨拶。



開式祝法螺



四方払い



世話人代表挨拶

玉岡憲明相談役の「緑綬褒章」授賞式は、環境庁での大臣表彰後宮中で拝謁する事になっていましたが、体調不良の理由で欠席されました。和歌山県東牟婁振興局の計らいで、この会場で土井敏弘局長から元氣になられた玉岡相談役に緑綬褒章表彰状及び副賞の県知事表彰状と銀杯の受賞伝達式が執り行われました。



緑綬褒章伝達式



花束贈呈



受賞者挨拶

玉岡憲明相談役の「緑綬褒章」受賞お祝金は、当ぐるーぶ及び祝賀会参加費から新宮山彦ぐるーぶ会員・会友一同として世話人代表から贈呈。花束贈呈は、伊賀敷さんのお孫さん金子 桜ちゃんから玉岡相談役に送られ、華やいで和んだ雰囲気になり、受賞者玉岡相談役が挨拶された。

ご来賓12名を紹介後、来賓祝辞は、田岡新宮市長と聖護院門跡・草分教務部長から頂戴した。



来賓挨拶



鏡割り



乾杯！

鏡割りの酒樽及び塗り祝枿は、名誉会友・茂原 治先生(医療法人やまびこ会理事長)の寄贈で、酒樽は会友・雑賀 桂さんの蔵元(株)九重雑賀から調達され、祝賀会にふさわしい鏡割り演出と立派な記念品となり、茂原先生の気配りに衷心より感謝申し上げます。鏡割りは、田岡市長、茂原名誉会友、南下北山村長、高木亮英熊野修験代表(青岸渡寺副住職)、川島世話人代表の5人で「せーの！」の掛け声で「よいしょ！」で鏡割り。南下北山村村長の乾杯音頭で、予定より遅れた19時過ぎに開宴した。余興は、熊野水軍太鼓(紀宝町鶉殿)の力強い太鼓の響で始まる。山上司会者に替わり鶴岡・大武親子による花笠音頭と河内おとこ節の踊りがあり、当ぐるーぶ恒例のおひねりが飛び交う。その後、口上入り山形大黒舞、生熊氏の山彦五万節、東さんの上海航路、山の唄の女性陣コーラスそして男性陣コーラスが舞台

に上がり合唱、林さん十八番の日立トンコ節等で盛り上がる。



熊野水軍太鼓



踊りにおひねり飛ぶ



女性陣コーラス



くつろいで歓談され時間の経つのが早く21時前になり、神田

千花さん指導の下でネパール民謡「レサム ピリリ」でファイナーレ総踊りとなる。山上世話人副代表の閉式の辞で祝賀会が終了。



神田さんの模範踊りに習い全員でファイナーレ総踊り



二次会は、亀宝の間で一次会の料理と大江さん手作りさんま寿司、富山のかぶら寿司が差入れされ、歓談とカラオケで大いに盛り上がり懇親交流が深められ、ようやく24時過ぎにお開きとなった。



二次会のご歓談と懇親

最後に、遠路より多くの方々が参席して下さり、また本祝賀会にご祝儀等を賜わり、衷心より御礼申し上げます。

(記 川島)